

無線呼び出し装置付き定時放送システム

お手軽放送室

【 送信機 】

取扱説明書

21 株式会社 トゥーワン

20190319-1806

目次

■	目次.....	2
■	はじめに.....	3
■	注意事項.....	4
□	使用上の注意 □.....	4
□	電波法に関する注意事項 □.....	4
□	故障とアフターサービス □.....	4
■	各送信機の外観.....	5
□	外観図 □.....	5
●	送信機（TCA-01S）.....	5
●	送信機（TCA-03S）.....	6
●	送信機（TCA-06S）.....	7
●	リモコン（WT-01・WT-02）.....	8
■	送信機のボタンと音声番号の割り付け設定.....	10
□	送信機のボタンと設定スイッチの関係 □.....	10
□	設定スイッチの合わせ方 □.....	11
■	電池交換.....	12
□	送信機（TCA-01S・TCA-03S・TCA-06S） □.....	12
●	電池交換時期.....	12
●	電池交換方法.....	12
□	リモコン（WT-01・WT-02） □.....	13
●	電池交換時期.....	13
●	電池交換方法.....	13
■	故障かな？と思ったら.....	14
■	仕様.....	15
□	仕様一覧 □.....	15
●	共通仕様.....	15
●	送信機.....	15
●	リモコン.....	15

■ はじめに

本システムは、店舗などで店員同士の連絡やお客様からの呼び出しを無線を利用して行うものです。店舗内のレジ・サービスカウンタや切り売りコーナーなど、店員がお客様と接する機会が多い場所などに呼び出し用の送信機を設置していただきます。

またリモコンもご用意しておりますので、人が持ち歩くことも可能です。

店員またはお客様が送信機・リモコンの「ボタン」を押すと、無線を通じて事務所等に設置された受信機に知らされます。

受信機は信号を受け取ると、お手軽放送室へのインターフェースコネクタへ約2秒間信号を出力します。

この信号を使用して、店内へ呼び出しのアナウンスや音楽を流す事ができます。

以下に、本システム導入による効果と特徴を記します。

- ・ お客様の呼び出しに、迅速に対応する事が可能になるのでお客様をお待たせしません。
- ・ お客様をお待たせしないので、他店との差別化になります。
- ・ 売り場に常駐する必要がありませんので、人手を削減する事ができます。
- ・ 無線を利用していますので、送信機と受信機のための配線が不要です。
- ・ 配線が不要ですので、送信機の移動などレイアウトに幅が広がります。
- ・ 特定小電力無線を使用していますので、免許が不要です。
- ・ 見通しの良い場所ならば、約100mまで使用できます。
- ・ 受信機1台に対し、最大31CH（最大99台）の送信機・リモコンの増設が可能です。

■ 注意事項

□ 使用上の注意 □

- 本製品を使用したことによって生じた、いかなる二次的損害に対しても一切の責任は負いません。
- 電波障害や故障等で連絡できなく被害が発生いたしましても、賠償責任は負いませんのでご了承ください。
- 本製品を当社指定修理技術者以外が分解、修理、改造することは絶対に行わないで下さい。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品は防爆型ではありません。
- 本製品は防水仕様ではありませんので、雨、雪のあたる場所での使用は避けてください。また、結露させないで下さい。
- 酸、アルカリ、有機溶剤、腐食性ガス等の影響を受ける環境では使用しないでください。
- 定められた電圧で使用して下さい。使用範囲外の電圧で使用すると、故障の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り外してください。電池を入れたままにしておきますと、電池から液漏れする場合があります、故障の原因になります。
- 電池の逆接続にご注意ください。一瞬でも逆に接続してしまうと内部回路を破損してしまう恐れがあります。よく確認してから接続してください。
- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい時は、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。ベンジン、シンナーなどは使用しないで下さい。
- ご使用の前には「取扱説明書」を全て読み終わり熟知した後、ご使用ください。

□ 電波法に関する注意事項 □

- 無線ユニットの分解、改造はしないで下さい。分解、改造は法律で禁止されています。
- 無線ユニットの技術基準適合証明ラベルは、剥がさないで下さい。ラベルの無いものは使用が禁止されています。
- この製品は、外国の電波法には準じておりません。日本国内で使用して下さい。

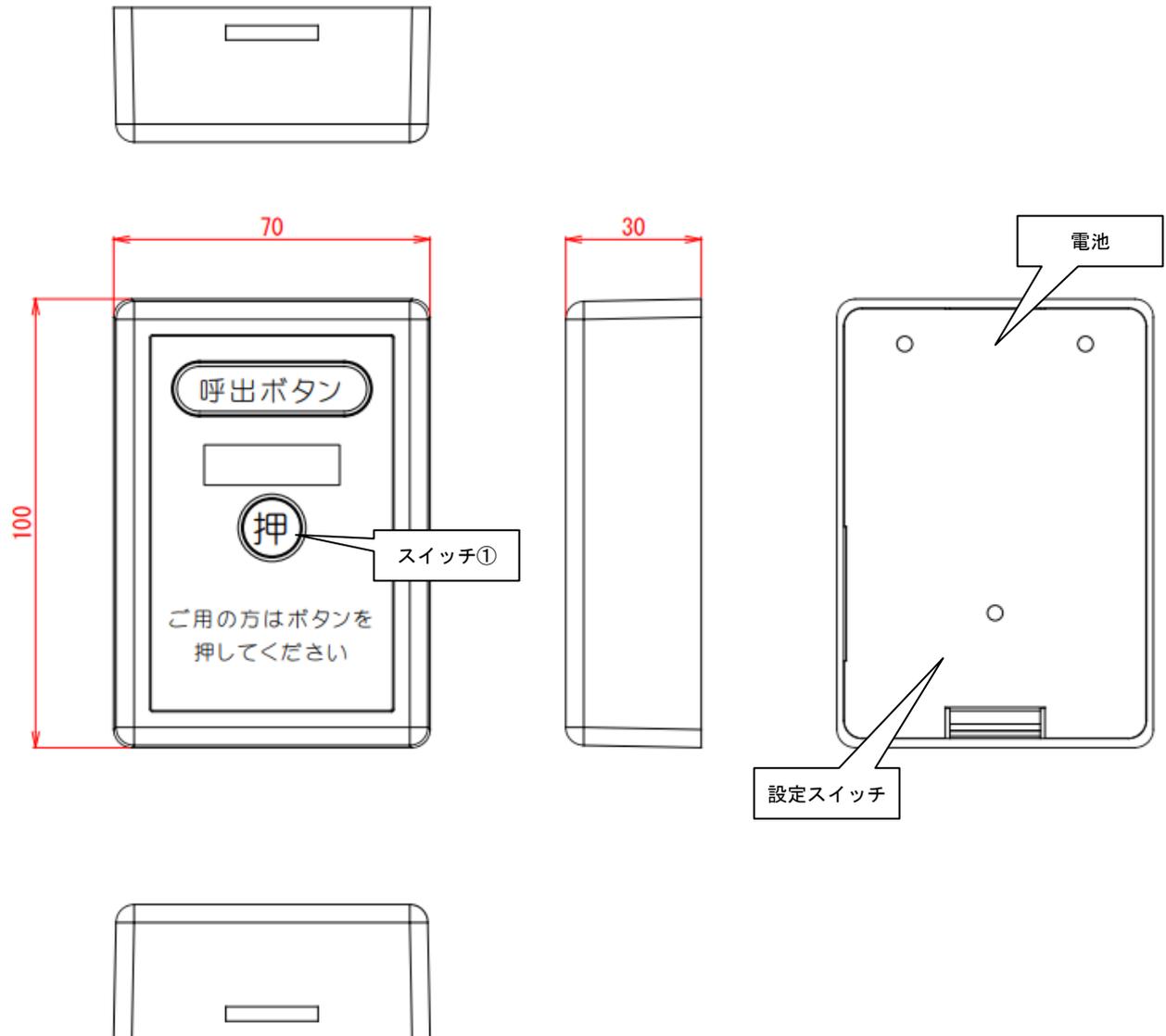
□ 故障とアフターサービス □

- 本製品の無償修理保証期間は、お買い上げの日から1年間といたします。修理対応の基本はセンドバック保守となります。故障の内容や状況をなるべく詳しくお知らせ頂くとともに商品を送り返して頂き対応いたします。

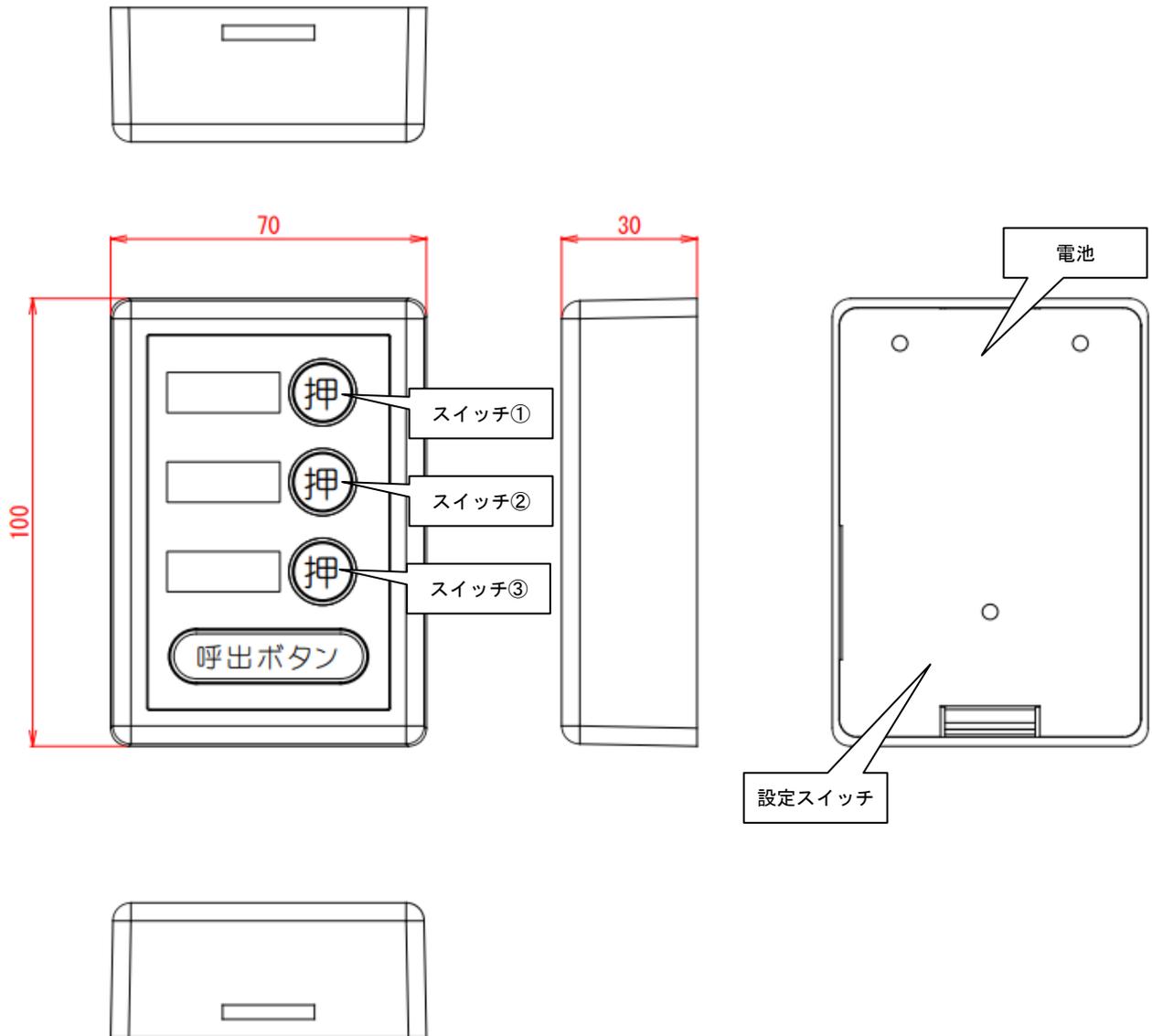
■ 各送信機の外観

□ 外観図 □

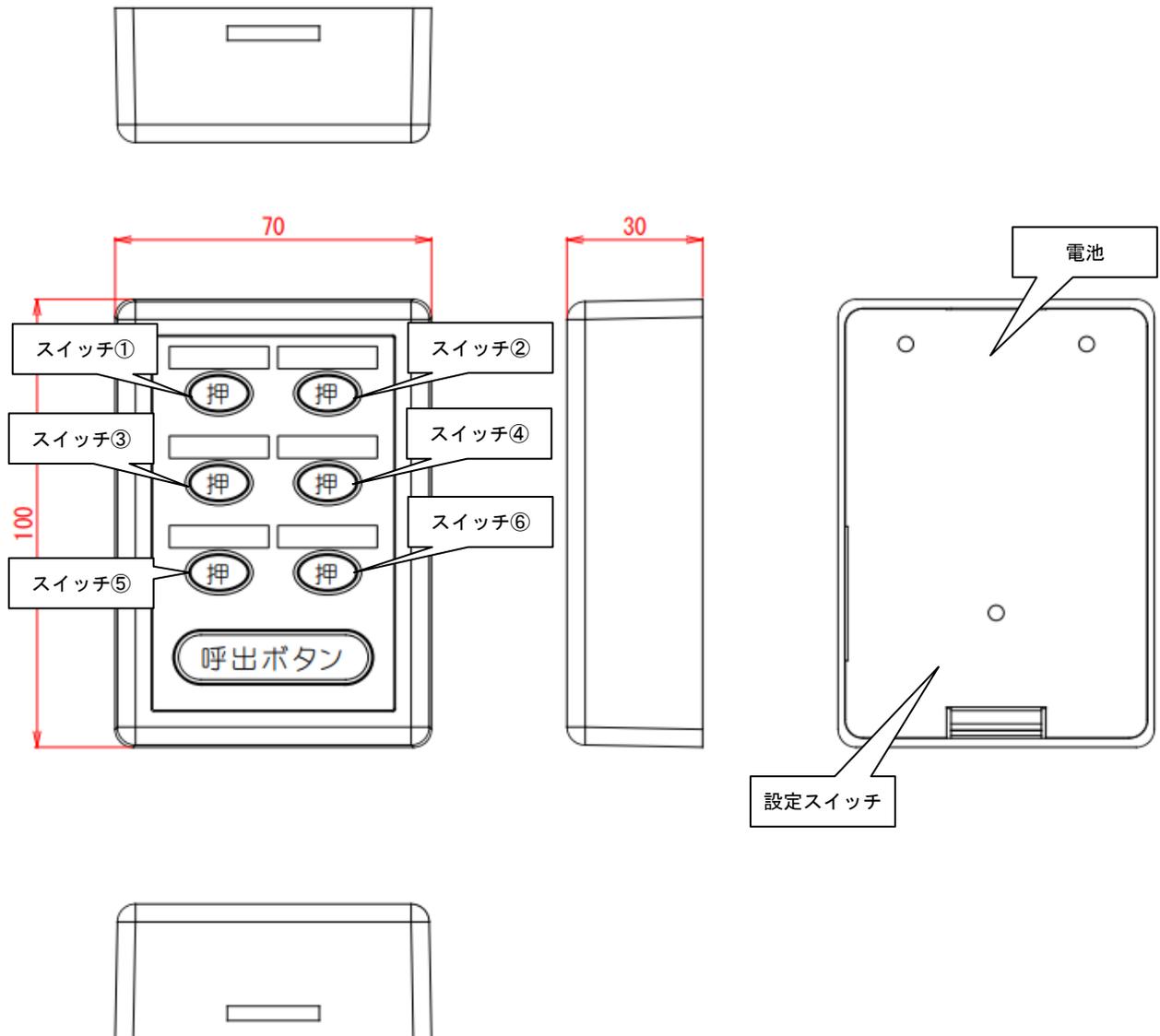
● 送信機（TCA-01S）



●送信機（TCA-03S）

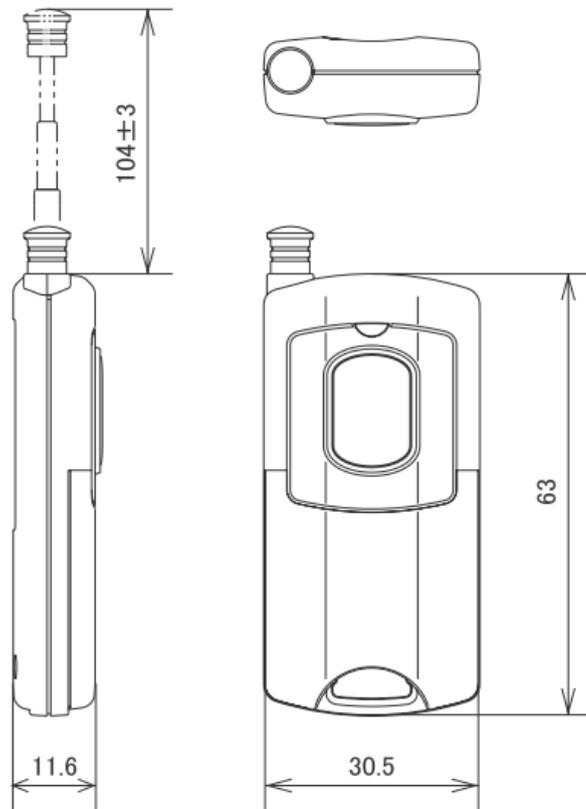


●送信機（TCA-06S）

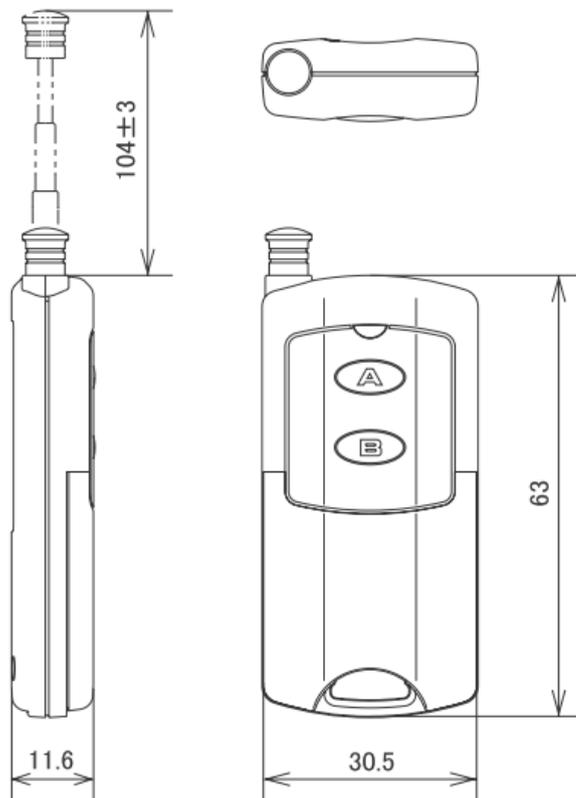


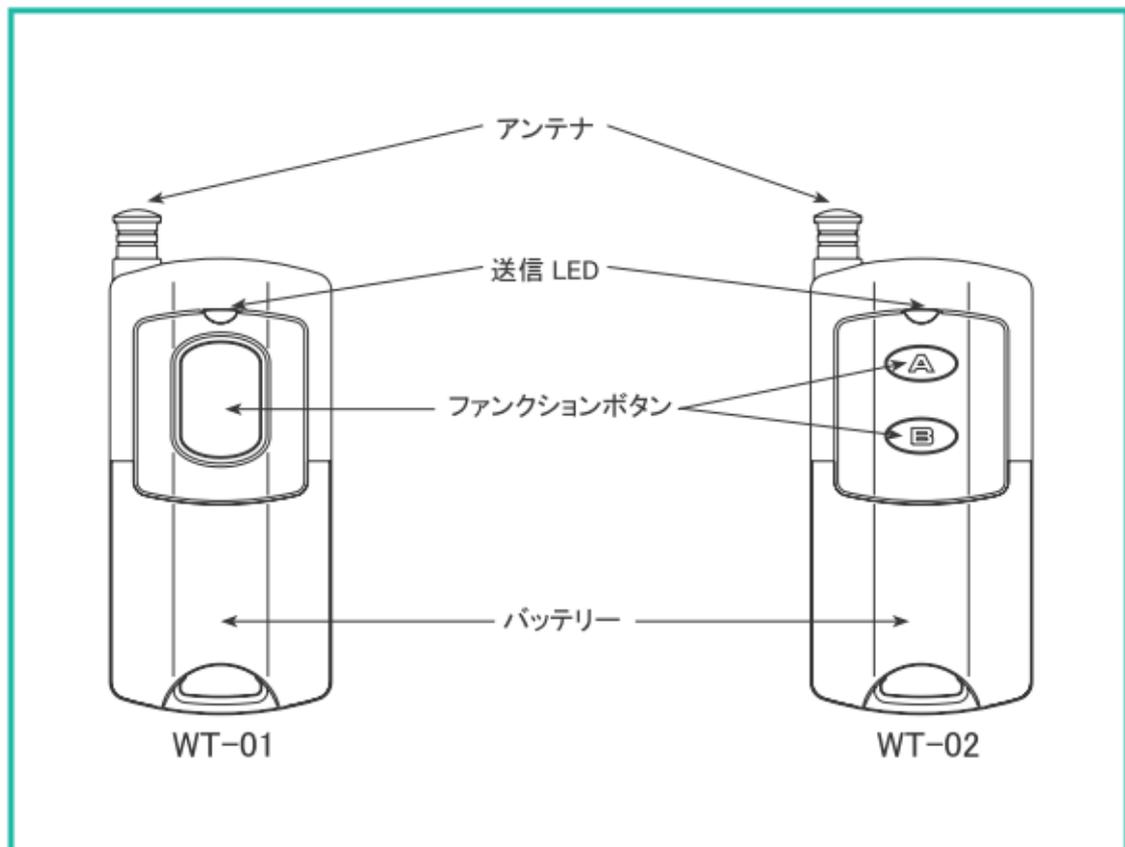
● リモコン（WT-01・WT-02）

● WT-01



● WT-02





アンテナ	ロッドアンテナです。伸ばし切った状態で、200～300mの通信が可能です。収納した状態では、手や体とアンテナの位置により電波の輻射効率が変わり、伸ばした状態に比べて通信距離が短くなります。
送信 LED	ボタンを押し送信した時に「緑色 LED」が点灯します。バッテリーの電圧が低下すると「赤色 LED」が点灯します。この時はバッテリーが消耗していますので、交換してください。交換方法は「電池交換について」をご覧ください。
ファンクションボタン	WT-01 は1ファンクション（ボタン）で WT-02 は2ファンクション（ボタン）です。ボタンを押すと送信しますが、電波法上送信時間制限がありますので、5秒以上の連続送信はできません。詳しくは「送信時間について」をご覧ください。
バッテリー	バッテリーはリチウム電池 CR2032タイプを1個使用しています。電池の交換は「電池交換について」をご覧ください。
ケース	日常生活防水ケースです。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  注意 </div> 金属部品に使用される油やグリース、または植物油、洗剤等が付着した場合に、時間経過に伴ってケースに割れが生じるおそれがあります。 (ケースの材質：ABS/PCアロイ)

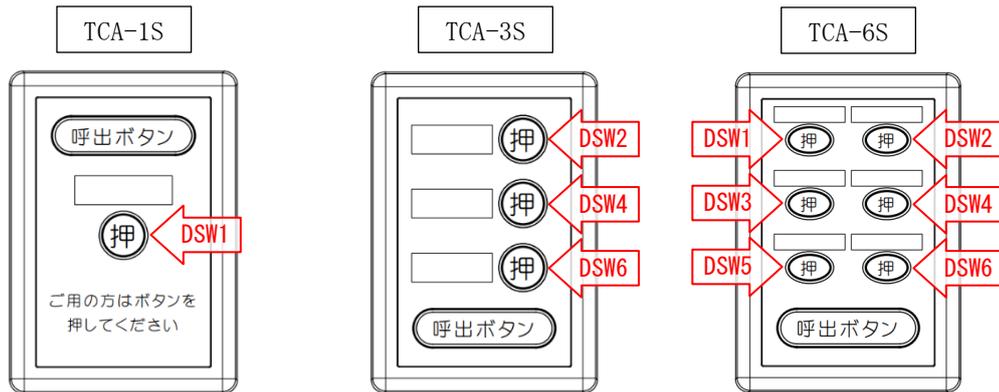
■ 送信機のボタンと音声番号の割り付け設定

□ 送信機のボタンと設定スイッチの関係 □

送信機のどのボタンをどの音声番号に割り付けるかの設定を行えます。

設定は裏ぶたを開け、内部基板上に設置されている「ロータリースイッチ DSW1～6」と「ディップスイッチ DSW7」の組み合わせで行います。

ロータリースイッチは、それぞれのボタンに対応しています。その対応は以下の通りです。



これらの押しボタンスイッチが、下記基板上のスイッチに対応しています



TCA-1S・3S・6S 内部の基板

ロータリースイッチ DSW1～6 と DSW7 を組み合わせることで音声番号 1～31 に設定することができます。DSW7 の 1～6 番 (7・8 番は未使用) は、それぞれ DSW1～6 に対応しており、DSW7 を OFF にしておくことにより、DSW1～6 の設定が音声番号 1～15 に設定でき、DSW7 を ON にしておくことにより、DSW1～6 の設定に 16 が加算され、16～31 に設定できるようになります。具体的な設定内容は事項を参照ください。

※リモコンは WT-01 と WT-02 のボタン A は音声番号「1」で固定となります。

また WT-02 のボタン B は音声番号「2」で固定となります。

□ 設定スイッチの合わせ方 □

設定スイッチは、DSW1～DSW6 まであり、DSW7 の 1～6 との組み合わせで設定します。

ロータリースイッチ (DSW1～6) には、0～F の 16 進数が記載されておりますので下記表を参考に設定してください。

それではスイッチの設定内容を、以下の表に記します。

設定したい 音声番号	DSW1～6	DSW7 (1～6)
1	1	OFF
2	2	OFF
3	3	OFF
4	4	OFF
5	5	OFF
6	6	OFF
7	7	OFF
8	8	OFF
9	9	OFF
10	A	OFF
11	B	OFF
12	C	OFF
13	D	OFF
14	E	OFF
15	F	OFF
16	0	ON
17	1	ON
18	2	ON
19	3	ON
20	4	ON
21	5	ON
22	6	ON
23	7	ON
24	8	ON
25	9	ON
26	A	ON
27	B	ON
28	C	ON
29	D	ON
30	E	ON
31	F	ON

■ 電池交換

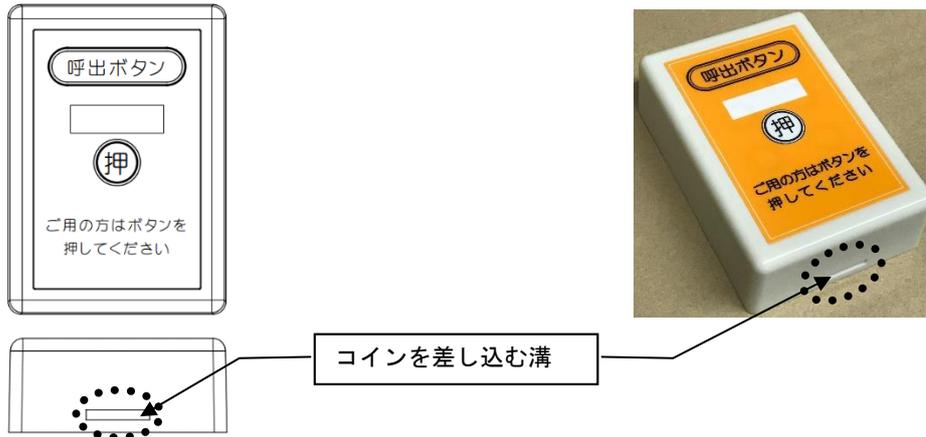
□ 送信機（TCA-01S・TCA-03S・TCA-06S） □

● 電池交換時期

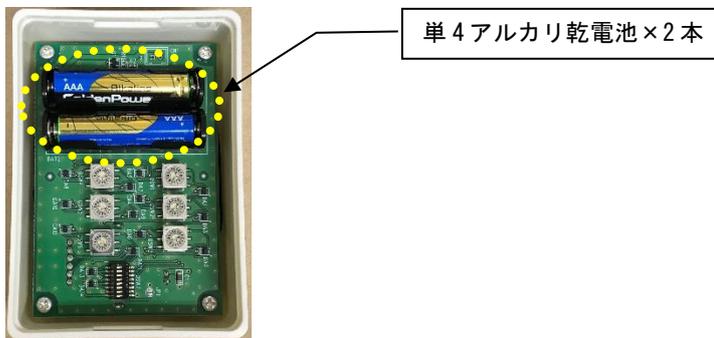
電池の寿命は、設置環境や使用状況により大きく変わりますが、目安として1日10回呼び出したとして、約2年以上はもちます。

● 電池交換方法

① 送信機の下部にある溝にコインなどを差し込み、本体と裏ぶたを分離させます。



② 古くなった乾電池を取り外します。



③ 先ほど古い乾電池を取り外した電池ケースに新しい乾電池を取り付けます。

この時、乾電池の極性に注意してください。+/−を逆に接続しますと、本体が破損する恐れがありますので注意して作業してください。

- 使用する乾電池は、単4型アルカリ乾電池×2本です。
- アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
- ニッカド電池・ニッケル水素電池等の充電式電池は使用できません。

④ 送信機上部に裏ブタの突起を差し込んでから、裏ブタに本体をパチンと音がするまではめ込んでください。

⑤ 以上の手順で、電池交換は完了です。

□ リモコン（WT-01・WT-02） □

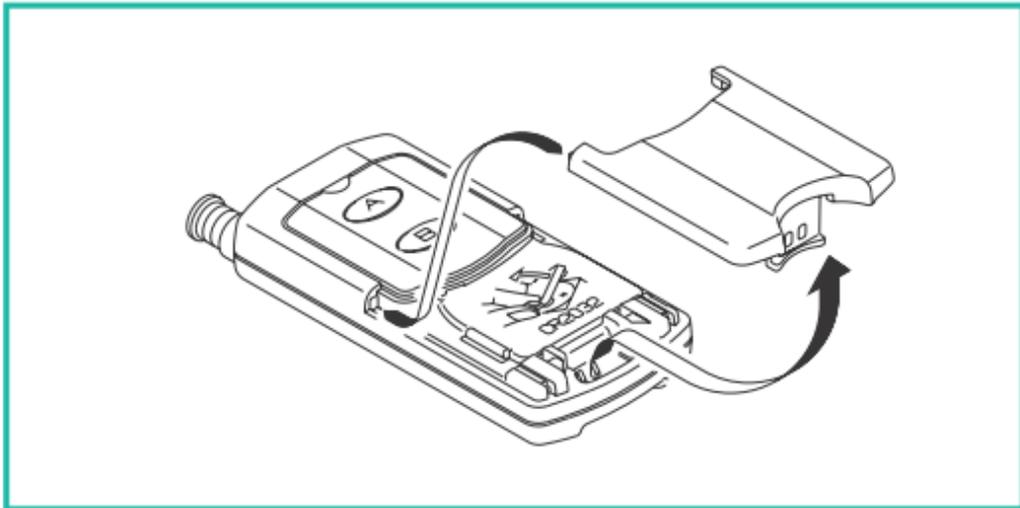
●電池交換時期

リモコンでボタン操作を行うと、送信モニター LED が点灯します。

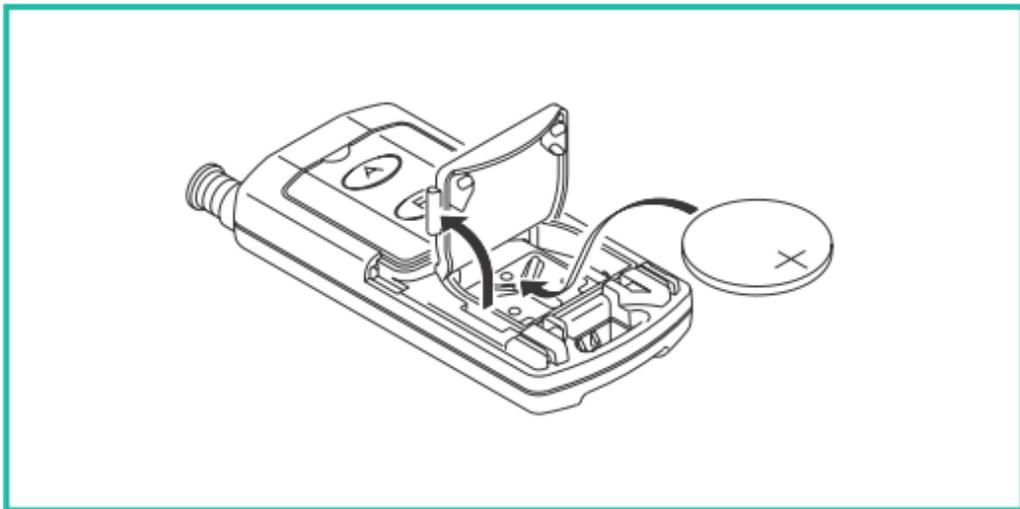
通常は緑色が点灯しますが、電池の容量が少なくなると赤色が点灯します。」赤く点灯するようになったら、以下の手順でバッテリーを交換してください。（リチウム電池 CR2032 × 1 個）

●電池交換方法

1. 送信機バッテリーカバーのツメをはずして、カバーを外します。ツメは折れやすいので、十分注意してください。



2. 防水カバーをめくって、電池の+側が上になるように電池を交換します。



3. 防水カバーを元に戻し、バッテリーカバーをツメが確実にロックするように取り付けます。



注意

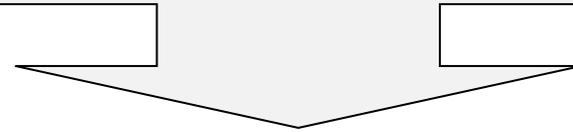
バッテリーカバーを閉じるときは、隙間のないようにして確実にロックさせてください。隙間があると送信機内部に水が入り、故障の原因となる場合があります。

■ 故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、代理店などにご相談になる前に、下記の流れに沿ってチェックしてみてください。

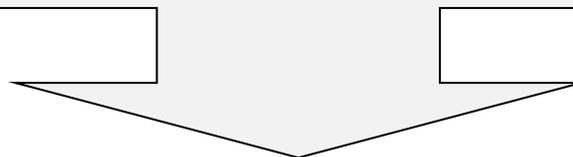
1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」にて、該当する項目をチェックしてください。



2 それでも解決しないときは

お買い上げ店にご相談ください。ご相談になる場合は、なるべく詳しいトラブル内容をお伝えいただけますようお願いいたします。



Q&A（よくある質問と回答）

このようなとき	対処のしかた
送信機で呼出スイッチを押したがメッセージが流れない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呼出ボタンを押した時、受信機の受信モニタランプが点灯するか確認する。ランプが点灯しない場合は、以下の内容が考えられます。 <ol style="list-style-type: none"> ① 送信機の電池切れ → 電池交換をして下さい ② 送信機が受信機に登録されていない → 送信機に登録をして下さい ③ 通信距離が長すぎるか、電波障害で電波が正常に届いていない → 受信機のアンテナの位置を変えるか、送信機の設置場所を変えて下さい ・ 呼出ボタンを押した時、受信機の無線ランプが点灯し、その後受信機の出カモニタランプ約2秒間点灯するか確認する。ランプが点灯しない場合は、以下の内容が考えられます。 <ol style="list-style-type: none"> ① 送信機のチャンネルが1～31以外に設定されている → 送信機が故障しています

■ 仕様

□ 仕様一覧 □

● 共通仕様

	仕 様
適合規格	ARIB STD-T67 テレコントロール適合（技術基準適合証明取得済み）
使用周波数	426.0250/426.0625/426.1125/426.1375MHz（DIP-SWにより選択） ※リモコンは426.025MHz固定
通信方式	単向通信
変調方式	サブキャリア MSK 方式の周波数変調
ビットレート	1,200bps
動作温度範囲	-20 ～ +60℃（結露無きこと・非防水・非防塵仕様）
通信距離	見通し 100m

● 送信機

	仕 様
送信出力	1mW以下
チャンネル番号	1～31（内部のDIP-SWにより設定）
アンテナ	リードアンテナ（アンテナ長：約175mm・1/4波長）
使用環境	屋内専用

● リモコン

	仕 様
送信出力	1mW
アンテナ	内蔵ロッドアンテナ（104mm）
使用環境	屋内専用

※仕様・デザイン等は改良のため予告なく変更することがあります。